

NEWS RELEASE

各位

2012年10月31日

株式会社 MCA

「移動通信ネットワークにおける最適化の現状と展望」の販売を開始

～絶え間なく続く移動通信ネットワークの最適化へ向けたキープレーヤの動向と戦略分析～

移動体通信・IT 分野専門の調査会社である株式会社 MCA（所在地：東京都豊島区南池袋 3-18-30、代表者：天野浩徳、TEL：03-5928-5925）が 2012 年 10 月 31 日に、調査レポート「移動通信ネットワークにおける最適化の現状と展望～絶え間なく続く移動通信ネットワークの最適化へ向けたキープレーヤの動向と戦略分析～」（価格：税込 210,000 円）を発刊しました。

「移動通信ネットワークにおける最適化の現状と展望」

http://www.mca.co.jp/pay_contents/FormMail/mobile%20optimization2012.html

■調査の概要

最適化市場にはキャリアや無線機、計測器、最適化ツールベンダ、エンジニアリング会社など多くの企業が関わっている。エンジニアリング会社の場合、最適化作業を行う最適化作業エンジニアリング会社、最適化の際の置局工事を担当する基地局工事エンジニアリング会社に区分される。

大手キャリア 3 社は最適化に積極的な姿勢であるが、自社主導・内製型の NTT ドコモ、自社主導・外部委託型の KDDI (au) とイー・アクセス (イー・モバイル)、外部提案・外部委託型のソフトバンクモバイルに区分できる。

基地局市場は新局数によって市場規模が大きく左右されるが、最適化市場は継続的に存在する市場であり、キャリアには最適化を含めたネットワーク運用が非常に重要な位置を占めている。キャリアがユーザにサービスを提供し続ける限り、最適化工事は欠かすことのできない、終わりのない作業といえる。

■調査レポートのポイント

- ✓ 移動通信ネットワークにおける最適化関連市場規模推移と予測
- ✓ キープレーヤ（キャリアやベンダ、エンジニアリング会社）の戦略分析
- ✓ 最適化ツール市場の動向と展望

■調査の対象

分類	対象企業
セルラーキャリア	NTTドコモ、KDDI (au)、ソフトバンクモバイル、イー・アクセス(イー・モバイル)
無線機ベンダ	エリクソン・ジャパン、サムスン電子ジャパン、日本電気(NEC)、ノキア シーメンス ネットワークス、パナソニック モバイルコミュニケーションズ、日立製作所、華為技術日本、富士通など
計測器・最適化ツールベンダ	Accuver、アジレント・テクノロジー、アンリツ、岩通計測、東陽テクニカ、横河メータ&インスツルメンツ、ローデ・シュワルツ・ジャパンなど
エンジニアリング会社など	KCCSモバイルエンジニアリング、KDDIエンジニアリング、京セラコミュニケーションシステム、協和エクシオ、コムシスグループ、ドコモエンジニアリング、ドコモ・モバイル、ミライトなど

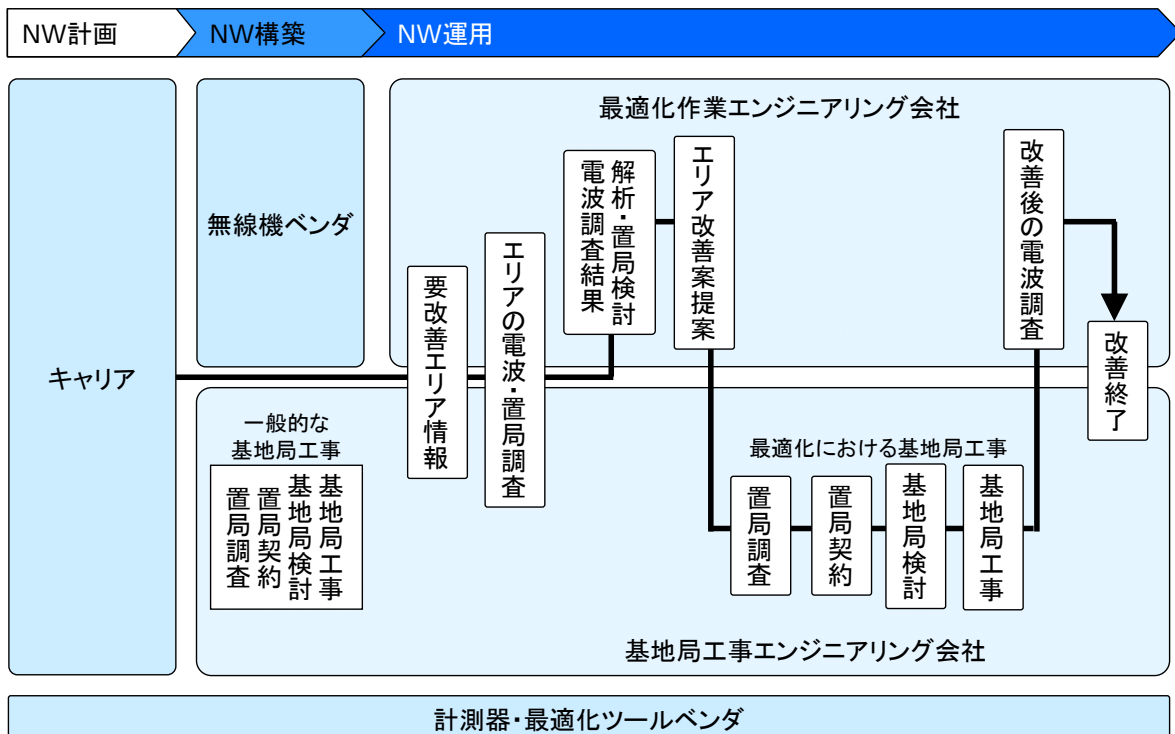
■最適化の定義

今回の調査におけるネットワークの最適化とは、ネットワーク構築後の運用において、エリア改善（スポット置局や状況変化への対応、不感地対策など）や収容力拡大などのエリア調整を指す。

■最適化の定義の範囲

区分	範囲
エリア改善	スポット置局、状況変化への対応（基地局周辺のビル新築・改築などによる電波状況の変化など）、不感地対策（走行や歩行、定点調査）など
収容力拡大	小ゾーン、セクタ化など

■調査の範囲

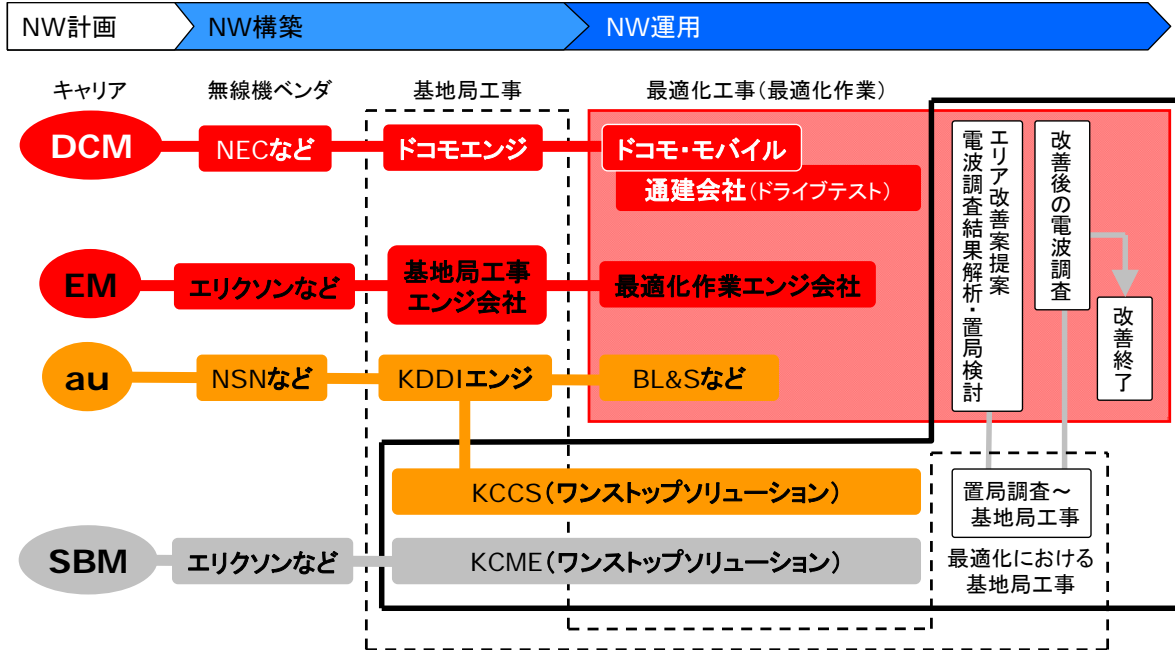


■調査結果抄録

1. セルラーキャリアの移動通信ネットワーク最適化の状況と戦略

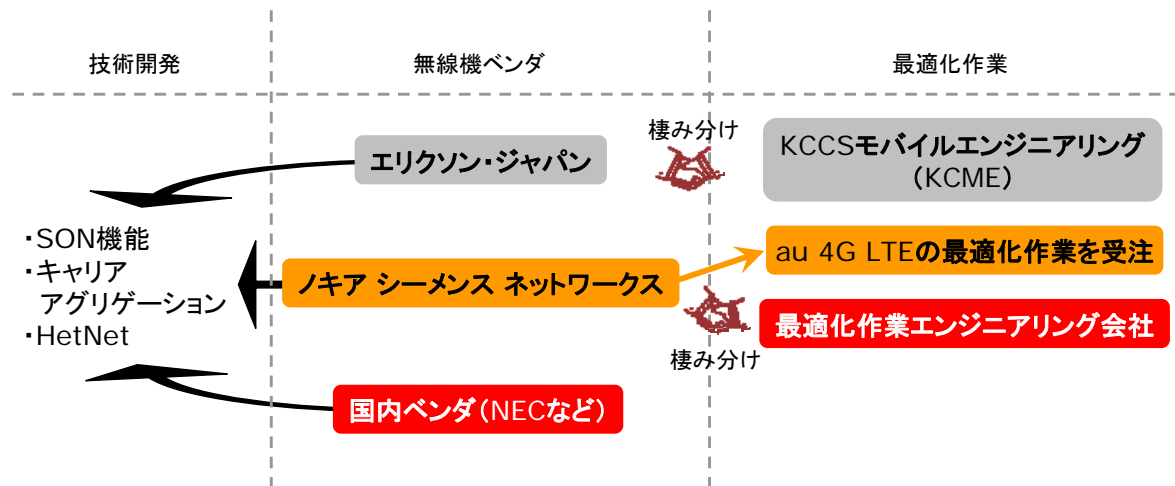
1-4. 最適化におけるベンダやエンジニアリング会社との関係

図：最適化におけるベンダやエンジニアリング会社との関係



2. 無線機ベンダの動向と戦略

図：無線機ベンダと最適化作業エンジニアリング会社との関係と動向



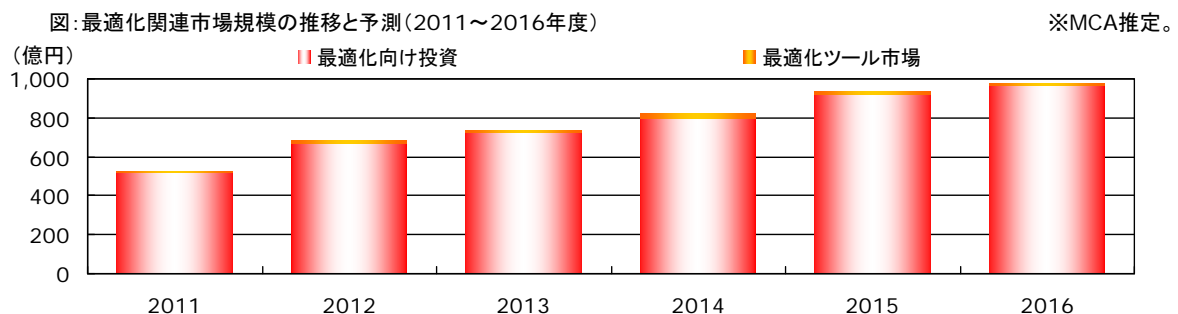
5. 移動通信ネットワーク最適化市場の総括と将来予測

5-3. 最適化関連市場規模の推移と予測（2011～2016年度）

2016年度に最適化関連市場は980億円へ拡大

最適化関連市場規模として、キャリア各社の最適化向け投資と最適化ツール市場規模を合算して算出した。最適化ツール市場はキャリア各社の最適化向け投資に比べ、非常に小規模なレベルである。しかし、最適化作業には欠かせないツールであり、今後も通信方式のトレンドに乗り、市場規模は上下するものと推測した。

一方、キャリア各社の最適化向け投資はスマートフォンによるトラフィック増大に向け、ネットワークのエリアや品質向上が重視され、全体の設備投資額における割り当てが拡大される見込みである。



■調査レポートの主な目次

※詳細な目次は以下の「レポート目次」をご参照ください。

http://www.mca.co.jp/pay_contents/FormMail/mobile%20optimization2012.html

1. セルラーキャリアの移動通信ネットワーク最適化の状況と戦略

1-1. 3G/3.9G (LTE) ネットワークの設計思想と状況

1-1-1. NTT ドコモ

1-1-2. KDDI (au)

1-1-3. ソフトバンクモバイル

1-1-4. イー・アクセス (イー・モバイル)

1-2. 移動通信ネットワークに対する最適化の考え方と方向性

1-3. 移動通信ネットワーク最適化の現状と課題

1-4. 最適化におけるベンダやエンジニアリング会社との関係

1-5. 最適化向け投資の規模推移と予測（2011～2016年度）

※1-2 から 1-4 は 1-1 の項目と同様。

2. 無線機ベンダの動向と戦略

2-1. 最適化市場での事業領域（技術開発・オペレーションなど）

2-1-1. エリクソン・ジャパン

2-1-2. ノキア シーメンス ネットワークス

2-3-3. 国内ベンダ

2-2. 現状の最適化市場との関わり方

2-3. 最適化市場に対する考え方と方向性

2-4. 最適化市場の将来的な位置付け

3. エンジニアリング会社の動向と戦略

3-1. 参入プレーヤの最適化作業への体制と流れ

3-1-1. ドコモ・モバイル

3-1-2. KDDI エンジニアリング

3-1-3. 京セラコミュニケーションシステム (KCCS)

3-1-4. KCCS モバイルエンジニアリング (KCME)

3-1-5. ブルーストーン L&C (BL&C)

3-1-6. アクセスクリエイト

3-1-7. きんでん

3-1-8. コムテクト

3-1-9. 三技協

3-1-10. シー・エヌ・エス

3-1-11. メディアクリエイトコミュニケーションズ

3-2. 最適化事業に対する取り組みと課題

3-3. 最適化作業に向けた新技術の動向

3-4. 最適化事業の売上高推移と予測（2011～2016年度）

4. 計測器・最適化ツール市場の動向

4-1. 計測器・最適化ツールベンダの動向

4-1-1. アンリツ

4-1-2. Accuver

4-1-3. アンドリュー・ジャパン

4-2. 最適化ツールの動向と特長

4-3. 主な最適化ツールの仕様

4-4. 最適化ツール市場の規模推移と予測（2011～2016年度）

5. 移動通信ネットワーク最適化市場の総括と将来予測

- 5-1. 移動通信ネットワークにおける最適化市場の構図 (Snap Shot)
- 5-2. セルラーキャリアのネットワーク最適化戦略の総括 (強み、弱み、今後の動向)
- 5-3. 最適化関連市場規模の推移と予測 (2011～2016 年度)
- 5-4. 最適化市場の普及拡大要因・阻害要因
 - 5-4-1. 普及拡大要因
 - 5-4-2. 普及阻害要因
- 5-5. 最適化市場の総括と将来動向
 - 5-5-1. 総括
 - 5-5-2. 将来動向

■調査レポート詳細

発行日：2012 年 10 月
判型：PDF ファイル (A4 版 120 頁)
発行・販売：株式会社 MCA
頒価：210,000 円 (税込)
調査期間：2012 年 7 月～2012 年 10 月
販売方法：印刷レポート & PDF ファイル

■株式会社 MCA (MCA Inc.) の会社概要

設立時期：1993 年 12 月 1 日
代表者：代表取締役 天野浩徳
資本金：1,000 万円
所在地：〒171-0022 東京都豊島区南池袋 3-18-30 ファースト日野ビル 4F
事業内容：通信分野に関するコンサルティングやマーケティング事業

- ・カスタムプロジェクト (委託調査) 業務
- ・IT Forecast Report (モバイル/IT 調査レポート) の企画/制作/販売業務

■本件リリースに関するお問い合わせ

株式会社 MCA (MCA Inc (<http://www.mca.co.jp/>)
担当：大門
E-Mail：info@mca.co.jp
TEL：03-5928-5925
FAX：03-5928-5921